

第4次地域福祉活動計画進捗状況報告シート						令和4年度（参考）			令和5年度		
基本理念	取り組むべきテーマ	重点施策	具体的な活動目標	取組目標	No.	目標	実績	振り返り	目標	達成見込	進捗状況（令和5年10月末現在）
<p>誰もが自分らしく地域で力を安心して暮らす社会の構築を目指す（地域づくり）</p>	<p>心でつなぐ地域づくり</p>	<p>地域における福祉ネットワークの構築</p>	○地域交流の推進								
			ミニデイサービス事業の実施	1	—	年12回以上実施 18地区	<p>新型コロナウイルスの影響で事業を中止・延期した地区があり、本町、本中山、二和、三咲、大穴、坪井の6地区で年12回を下回った。</p> <p>事業実施地区社協の実績合計は、通常開催を283回（延べ参加者9,689人、延べボランティア2,784人）、郵送等の取組を129回（延べ郵送人数11,379人）実施しており、コロナ禍でも地域交流が途絶えないよう努めた。</p>	年12回以上	年12回以上実施見込 22地区	<p>ボランティアと参加者の確保が困難等により事業を中止・延期している地区があり、二和、三咲地区の2地区で年12回を下回る見込みとなっている。</p> <p>24地区社協の10月末現在の事業開催数は292回、3月末の開催見込数は568回であり、5月以降に徐々に従来どおりの方法・開催頻度に戻している地区が多い。参加要件（介護保険認定外・地区境界の方）、食事手配（配達不可・物価高騰）、コロナ後の参加者・ボランティア離れなどが課題となっている。</p>	
			ふれあい・いきいきサロン事業の実施	2	—	年12回以上実施 12地区	<p>新型コロナウイルスの影響で事業を中止・延期した地区があり、葛飾、本中山、高芝、二宮・飯山満、習志野台、三咲、八木が谷、松が丘、豊富、坪井の10地区で年12回を下回り、高根台、大穴地区の2地区で事業中止となった。</p> <p>事業実施地区社協の実績合計は、通常開催を246回（延べ参加者3,314人、延べボランティア1,500人）、郵送等の取組を76回（延べ郵送人数4,370人）実施しており、コロナ禍でも地域交流が途絶えないよう努めた。</p>	年12回以上	年12回以上実施見込 22地区	<p>ボランティアと参加者の確保が困難等により事業を中止・延期している地区があり、三咲、大穴地区の2地区で年12回を下回る見込みとなっている。</p> <p>24地区社協の10月末現在の事業開催数は366回、3月末の開催見込数は638回であり、5月以降に徐々に従来どおりの方法・開催頻度に戻している地区が多い。町会・自治会館など通える範囲での開催継続、ミニデイサービスとのすみ分け、コロナ後の参加者・ボランティア離れなどが課題となっている。</p>	
			地域福祉まつり事業の実施	3	—	年1回以上実施 9地区	<p>新型コロナウイルスの影響及び公民館改修工事に伴い事業を中止した地区があり、宮本、海神、葛飾、法典、夏見、高根台、高芝、二宮・飯山満、薬円台、習志野台、二和、三咲、八木が谷、松が丘、大穴の15地区で事業中止となった。</p> <p>9地区社協では、通常開催（規模は縮小）を9回、作成した絵手紙の郵送を1回、展示形式を1回（延べ参加者7,928人、延べボランティア1,818人）実施しており、コロナ禍でも地域交流が途絶えないよう努めた。</p>	年1回以上	年1回以上実施見込 23地区	<p>ボランティアの確保が困難等により三咲地区において事業を中止した。</p> <p>24地区社協の10月末現在の事業開催数は23回、3月末の開催見込数は32回であり、コロナ前より規模を縮小しながらも従来どおりの方法で開催している地区が多い。久しぶりの開催で地域の方から反響があった一方、コロナ後のボランティア離れや高齢化などが課題となっている。</p>	
			子育てサロン事業の実施	4	—	年12回以上実施 7地区	<p>新型コロナウイルスの影響で事業を中止・延期した地区があり、本町、海神、葛飾、本中山、法典、夏見、高根・金杉、高芝、三田習、習志野台、二和、三咲、八木が谷、豊富、の14地区で年12回を下回り、松が丘、大穴、坪井地区の3地区で事業中止となった。</p> <p>事業実施地区社協の実績合計は、通常開催を283回（延べ参加者5,999人、延べボランティア1,220人）、郵送等の取組を27回（延べ郵送人数1,554人）実施しており、コロナ禍でも地域交流が途絶えないよう努めた。</p>	年12回以上	年12回以上実施見込 20地区	<p>ボランティアと参加者の確保が困難等により事業を中止・延期している地区があり、高根・金杉、高根台、三咲、松が丘地区の4地区で年12回を下回る見込みとなっている。</p> <p>24地区社協の10月末現在の事業開催数は197回、3月末の開催見込数は356回であり、5月以降に徐々に従来どおりの方法・開催頻度に戻している地区が多い。地域性により参加者が少ない、コロナ後のボランティア離れや高齢化などが課題となっている。</p>	

第4次地域福祉活動計画進捗状況報告シート						令和4年度（参考）			令和5年度				
基本理念	取り組むべきテーマ	重点施策	具体的な活動目標	取組目標	No.	目標	実績	振り返り	目標	達成見込	進捗状況（令和5年10月末現在）		
<p>誰もが自分らしく地域の力を安心して暮らす社会の構築を目指す（地域づくり）</p>	<p>心でつなぐ地域づくり</p>	<p>地域における福祉ネットワークの構築</p>	<p>・ミニデイサービス事業、ふれあい・いきいきサロン事業、地域福祉まつり事業等の推進（地区社協）</p>	<p>広報事業の実施</p>	5	—	<p>年1回以上HP更新は適宜</p>	<p>各地区で年1回以上広報紙を発行し、24地区社協の実績合計は、発行回数47回、発行部数403,130部であり、地域住民への情報発信に努めた。 ホームページは、「ふくしろうの部屋」において各地区の事業風景などを適宜更新した。</p>	<p>年1回以上HP更新は適宜</p>	<p>年1回以上実施見込24地区</p>	<p>各地区で年1回以上、広報紙を発行する見込みとなっている。 24地区社協の10月末現在の発行数は28回、3月末の発行見込数は53回であり、各地区で工夫を凝らした紙面編集を行っている。広報紙の配布方法（町会・自治会経由、ポスティング、折り込み）やコロナ後のボランティア離れや高齢化などが課題となっている。</p>		
			○地域生活支援の推進										
			<p>・生活支援協議会の設置・開催</p>	<p>生活支援協議会の設置・開催</p>	6	—	<p>年2回以上実施24地区（合計130回）</p>	<p>コロナ禍ではあったが、各地区社会福祉協議会の理事会等、既存の会議体の中で生活支援に関する議題を取り上げ、定期的に生活支援協議会を開催することができた。地域の福祉団体や医療関係者、民生委員など多くの関係者を招き、地域の課題を共有し意見交換を行っている地区もある一方、年間を通して開催の機会がなかった地区もあるため引き続きすべての地区での開催に向け働きかけていきたい。</p>	<p>年2回以上</p>	<p>年2回以上実施見込17地区（合計112回）</p>	<p>職員の欠員等により、葛飾、法典、高根・金杉、高根台、三咲、松が丘、坪井地区の7地区で年2回を下回る見込みとなっている。 17地区社協の10月末現在の開催数は62回、3月末の開催見込数は112回であり、各地区社協の理事会の他、たすけあいの会の定例会など地区で既存の会議体を活かしながら生活支援の話し合いの場を設けている。 一方で生活支援協議会の開催が定着しない地区もあることから、第1層生活支援コーディネーターと連携のうえ関係団体への働きかけを続けたい。</p>		
			<p>・助け合い活動の推進</p>	<p>地区社協型のたすけあいの会の立上げ完了地区</p>	7	—	18地区	<p>令和5年1月に本中山地区社会福祉協議会にて新たな「たすけあいの会」が発足し、市内18地区にて地区社協型たすけあいの会の立上げが完了した。</p>	18地区	18地区	<p>現在、18地区において社協型のたすけあいの会が発足している。 たすけあいの会の立上げには至っていないが、活動の周知を継続的に行い、活動の意思を示すボランティアを着実に増やしている地区（湊町・薬円台・三田習）も存在するため、たすけあいの会の立ち上げに向けて引き続き支援を行っていきたい。</p>		
			<p>独立型のたすけあいの会の新規立ち上げ数</p>	8	—	なし	<p>新たに立ち上がった団体はなかった。既存の団体の中でもボランティアの高齢化や人材の確保が難しい等多くの課題が挙げられている。立ち上げ支援の一環として、新たなボランティア確保に向けた周知活動を各地区生活支援コーディネーターと連携して行っていきたい。</p>	1団体	1団体	<p>新たに立ち上がった団体はまだないが、第2層生活支援コーディネーターが中心となり、町会・自治会に対したすけあいの会活動の周知を行っている。関心のある団体へは第1層による出前講座を実施、また立上げのノウハウをお伝えする等、後方支援を行っている。生活支援コーディネーターが団体の代表と連携し、今年度中の立ち上げに向けて動いている地区もある（豊富）。</p>			

第4次地域福祉活動計画進捗状況報告シート						令和4年度（参考）			令和5年度				
基本理念	取り組むべきテーマ	重点施策	具体的な活動目標	取組目標	No.	目標	実績	振り返り	目標	達成見込	進捗状況（令和5年10月末現在）		
く誰もが自分らしく地域に力を結集して暮らす社会の構築を目指して（地域づくり）	地域における福祉ネットワークの構築		・助け合い活動の推進	たすけあいの会ネットワーク情報交換会の開催数	9	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	年1回	年1回	8月28日に4年ぶりとなるたすけあいの会ネットワーク情報交換会を開催した。 10地区社協ならびに14の独立型たすけあいの会関係者38名、生活支援コーディネーター22名、地域コーディネーター3名、ほか市・社協職員の計73名の方が出席し、県社協による県内たすけあいの会の状況報告とグループディスカッションを行った。ボランティアの確保については多くの団体の共通課題であるということに改めて把握できた。		
			・生活支援コーディネーターのコーディネート業務の強化	生活支援コーディネーター連絡調整会議の開催	10	—	月1回	資質向上と相互の情報交換等を図り生活支援コーディネーター事業の推進を図るため、月に1回連絡調整会議を開催した。市の出前講座や大学教授による講義により知識の向上に努め、また、グループワークを行うことにより生活支援コーディネーター同士のつながりづくりを行った。コロナ禍でもオンライン会議等を活用し、生活支援コーディネーターに対する後方支援を切れ目なく行うことができた。	月1回	月1回	生活支援コーディネーター同士のつながりをより広く強固なものにできるよう、会議内容を工夫して毎月開催した。昨年度は圏域ブロックごとのグループワークをメインに行っていたが、今年度はブロックを超え全体に向けて報告を行う機会を多く設けた。また、船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくると情報交換会を行う等受け身ではなく生活支援の活動を外部に発信する機会を設けることができた。		
		「ボランティア」の確保・充実	○ボランティア登録者数の増員										
				ボランティア講習会	11	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	年1回	年1回	地区社協のボランティア育成事業などを活用して実施する予定となっている。		
		・ボランティアセンターのコーディネート機能の強化	ボランティア情報交換会	12	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	年2回	年2回	切手サロンのボランティアによる情報交換会を年度内に2回実施する予定となっている。			

第4次地域福祉活動計画進捗状況報告シート						令和4年度（参考）			令和5年度			
基本理念	取り組むべきテーマ	重点施策	具体的な活動目標	取組目標	No.	目標	実績	振り返り	目標	達成見込	進捗状況（令和5年10月末現在）	
<p>誰もが自分らしく地域に力を結集し暮らせる社会の構築を目指す（地域づくり）</p>	<p>心でつなぐ地域づくり</p>	<p>「ボランティア」の確保・充実</p>	<p>・福祉教育の推進</p>	福祉読本の配布	13	—	年1回	5,982冊を市内小学校55校の4年生に対して配布をした。そのうち25校よりアンケートの返信が届き、本冊子を活用した授業を実施したのは18校だった。物語風でわかりやすい、それぞれの立場や具体的な場の設定による対応の仕方について載っているので児童が考えやすい、等の意見が寄せられ、本冊子を活用した授業での児童の反応は良好であり、来年度も活用したいとの反応だった。	年1回	年1回	令和5年8月～9月に、市内の小学校55校の4年生に対して、福祉冊子5,902部を配布した。 1月にアンケート実施予定。	
				体験学習の実施	14	—	年6校	旭中、若松小、千葉日大、高根台中、八栄小、法典西小の6校に対して、車椅子、白杖、高齢者疑似体験等の福祉教育を実施した。	年5校	年1校（貸出9校）	令和5年9月に習志野台第一小学校にて車椅子・視覚障害者体験を用いた福祉教育を実施した。 また、福祉用具の貸出を市内の小・中学校9校に行った。 現時点で年度末までに福祉教育を予定している学校はないが、令和6年度については校長会にて福祉教育の周知を行いたいと考えている。	
				・ボランティア育成事業の推進（地区社協）	ボランティア育成事業の実施	15	—	年1回以上実施 21地区	新型コロナウイルスの影響で事業を中止した地区があり、法典、高根台、大六の3地区で事業中止となった。 事業実施地区社協の実績合計は、通常開催を101回（延べ参加者1,949人、延べボランティア302人）、郵送等の取組を26回（延べ郵送人数1,185人）実施しており、コロナ禍でもボランティアの確保・充実の推進に努めた。	年1回以上	年1回以上実施見込 24地区	各地区で年12回以上の開催見込みとなっている。 24地区社協の10月末現在の事業開催数は68回、3月末の開催見込数は130回であり、5月以降に徐々に従来どおりの方法・開催頻度に戻している地区が多い。既存ボランティアの交流や定着に繋がっている一方、新たなボランティアの確保（特に若い世代）が課題となっている。
				・ボランティア参加への環境整備	広報紙による情報発信（ふなばし福祉）	16	—	年2回	「ふなばし福祉」を年2回発行し、おもちゃの図書館、不要入れ歯回収、古切手回収、フードドライブ、社会福祉協議会でのボランティア活動などについて、情報を発信した。	年3回	年2回	「ふなばし福祉」を1回発行し、第4次船橋市地域福祉活動計画の概要、社会福祉協議会の事業及びボランティア活動の紹介、フードドライブなどについて、情報を発信した。 年度内に2回目の発行を予定しており、おもちゃの図書館、不要入れ歯回収、古切手回収、社会福祉協議会でのボランティア活動などについて、情報を発信する予定となっている。 ※発行回数を見直したため年2回の発行

第4次地域福祉活動計画進捗状況報告シート						令和4年度（参考）			令和5年度		
基本理念	取り組むべきテーマ	重点施策	具体的な活動目標	取組目標	No.	目標	実績	振り返り	目標	達成見込	進捗状況（令和5年10月末現在）
<p>誰もが自分らしく力を結集し暮らす社会の構築を目指して（地域づくり）</p>	<p>心でつなぐ地域づくり</p>	<p>「ボランティア」の確保・充実</p>	<p>・ボランティア参加への環境整備</p>	<p>広報紙による情報発信（地区社協だより）</p>	17	—	<p>年1回以上実施 24地区</p>	<p>各地区で年1回以上広報紙を発行し、24地区社協の実績合計は、発行回数47回、発行部数403,130部であり、地区社協事業やボランティア活動について情報発信を行った。</p>	<p>年1回以上</p>	<p>年1回以上実施見込 24地区</p>	<p>各地区で年1回以上、広報紙を発行する見込みとなっている。 24地区社協の10月末現在の発行数は28回、3月末の発行見込数は53回であり、各地区で工夫を凝らした情報発信を行っている。広報紙のボランティア募集を見て登録したボランティアもいる一方、紙媒体のみでの情報発信だけでは思うような効果が得られていないことが課題となっている。</p>
				<p>ホームページ・SNSによる情報発信（市社協・地区社協）</p>	18	—	<p>随時実施</p>	<p>ホームページのお知らせや「ふくしろの部屋」において、各地区の事業を紹介したり、ボランティア参加の呼びかけなどを随時発信した。 併せて市社協公式X（旧Twitter）でも情報を発信した。</p>	<p>週1回以上</p>	<p>週1回以上</p>	<p>ホームページのお知らせや「ふくしろの部屋」・市社協公式X（旧Twitter 令和5年10月現在、フォロワー206名）において、各地区の事業を紹介したり、ボランティア参加の呼びかけなどを随時発信した。 市社協及び24地区社協の10月末現在の発信数は227回、3月末の発信見込数は433回であり、それぞれ工夫を凝らした情報発信を行っている。</p>
				<p>ボランティアスタート講座の開催</p>	19	—	—	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	<p>年1回以上</p>	<p>年1回</p>	<p>ボランティア活動に興味・関心を持ってもらえるような講座を年度内に1回実施予定。</p>
				<p>中学生ボランティア養成講座の開催</p>	20	—	—	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	<p>年1回</p>	<p>年1回</p>	<p>令和5年8月2日、3日の2日間にわたり、船橋市中央公民館にて行った。船橋市在住の15名の生徒が、ボランティア団体、企業、障がい者協会のみならずから防災時や身の回りでできるボランティア、手話等を学び、非常食体験をした。参加した中学生は全員真剣に取り組んでいた。</p>

第4次地域福祉活動計画進捗状況報告シート						令和4年度（参考）			令和5年度		
基本理念	取り組むべきテーマ	重点施策	具体的な活動目標	取組目標	No.	目標	実績	振り返り	目標	達成見込	進捗状況（令和5年10月末現在）
誰もが自分らしく地域を安心して暮らせる社会の構築を目指して（地域づくり）	心でつなぐ地域づくり	「ボランティア」の確保・充実	・ボランティア参加への環境整備 ・町会・自治会や民生委員・児童委員、PTA、老人クラブ、学生、企業、社会福祉法人などへの働きかけ	地域に飛び出せ！！ ふなばし夏のボランティア体験の開催	21	—	年1回	市民協働課が主催する「第7回地域に飛び出せ！！ふなばし夏のボランティア体験」に18の福祉施設と24地区社協に周知。コロナ禍だったが2施設と9地区社協が参加するとともに市社協としても参加した。市社協としては中学生ボランティア養成講座の募集を行い15名の申し込みがあった。	年1回	年1回	船橋市市民協働課が主催する「第8回地域に飛び出せ！！ふなばし夏のボランティア体験」に対し、19の福祉施設と24地区社協に学生ボランティアの受け入れを案内した。そのうち5施設と10地区社協が参加し、受け入れを行った。
				活動者と活動先をつなぐ仕組みづくりの構築	22	—	—	第4次計画からの取組目標のため実績なし	準備期間	検討継続	これまでは施設ボランティア募集とボランティアグループ紹介の冊子を作成していたが、今後はボランティア活動をする方（個人）ができることをまとめたものを作成するなど、活動者と活動先とが互いの情報を気軽に知ることができるような環境を整備したい。
				町会・自治会（自連協）へのPR・説明会の実施（市社協）	23	—	随時実施	「ボランティア」の確保・充実に繋がるように、社会福祉協議会が行う事業の協力依頼やPR活動を行った。	年1回以上	随時実施	「ボランティア」の確保・充実に繋がるように、社会福祉協議会が行う事業の協力依頼やPR活動を引き続き行っている。
				民生委員・児童委員（民児協）へのPR・説明会の実施（市社協）	24	—	随時実施	「ボランティア」の確保・充実に繋がるように、社会福祉協議会が行う事業の協力依頼やPR活動を行った。	年1回以上	随時実施	「ボランティア」の確保・充実に繋がるように、社会福祉協議会が行う事業の協力依頼やPR活動を引き続き行っている。

第4次地域福祉活動計画進捗状況報告シート						令和4年度（参考）			令和5年度		
基本理念	取り組むべきテーマ	重点施策	具体的な活動目標	取組目標	No.	目標	実績	振り返り	目標	達成見込	進捗状況（令和5年10月末現在）
<p>誰もが自分らしく地域で安心して暮らす社会の構築を目指す（地域づくり）</p>	<p>心でつなぐ地域づくり</p>	<p>「ボランティア」の確保・充実</p>	<p>・町会・自治会や民生委員・児童委員、PTA、老人クラブ、学生、企業、社会福祉法人などへの働きかけ</p>	町会・自治会（地区連）へのPR・説明会の実施（地区社協）	25	—	随時実施	「ボランティア」の確保・充実に繋がるように、社会福祉協議会が行う事業の協力依頼やPR活動を行った。	年1回以上	随時実施	各地区で町会・自治会（地区連）へのPR・説明会を実施している。 24地区社協の10月末現在の実施数は51回、3月末の実施見込数は89回であり、地区連の会議、地区社協総会、広報紙の配布などに合わせて、顔の見える関係づくりを行いながら、それぞれの地区で事業協力の求めを行っている。
				民生委員・児童委員（地区民児協）へのPR・説明会の実施（地区社協）	26	—	随時実施	「ボランティア」の確保・充実に繋がるように、社会福祉協議会が行う事業の協力依頼やPR活動を行った。	年1回以上	随時実施	各地区で民生委員・児童委員（地区民児協）へのPR・説明会を実施している。 24地区社協の10月末現在の実施数は83回、3月末の実施見込数は148回であり、地区民協、地区社協総会、安心登録カードの配布などに合わせて、顔の見える関係づくりを行いながら、それぞれの地区で事業協力の求めを行っている。
				PTAへのPR・説明会（市社協）	27	—	なし	実績なし	年1回以上	年1回	「ボランティア」の確保・充実に繋がるように、社会福祉協議会が行う事業の協力依頼やPR活動などを今年度末までに1回実施したい。
				老人クラブへのPR、説明会の実施（市社協）	28	—	なし	実績なし	年1回以上	年1回	「ボランティア」の確保・充実に繋がるように、社会福祉協議会が行う事業の協力依頼やPR活動などを今年度末までに1回実施したい。

第4次地域福祉活動計画進捗状況報告シート						令和4年度（参考）			令和5年度		
基本理念	取り組むべきテーマ	重点施策	具体的な活動目標	取組目標	No.	目標	実績	振り返り	目標	達成見込	進捗状況（令和5年10月末現在）
誰もが自分 地ら 域しく のく安 を心結 集して 暮ら 共生 社会 の福 祉の 構築 を目 指し て（地 域づ くり）	心でつな ぐ地域 づくり	「ボラン ティア」 の確保・ 充実	・町会・自治 会や民生委 員・児童委 員、PTA、 老人クラブ、 学生、企業、 社会福祉法 人などへの 働きかけ	学生へのPR・ 説明会の実施 （市社協）	29	—	年4回	令和4年4月の東京医療保健大学（千葉看護 学部 看護学科 地域看護学領域）での講 義、7月の和洋女子大学学生への説明（2 回）、12月の東邦大学ボランティア部の訪問 などを通じて、学生へのPR・説明を行った。	年1回	年2回	令和5年5月の東京医療保健大学（千葉看護 学部 看護学科 地域看護学領域）での講 義、和洋女子大学学生への説明（1回）など を通じて、学生へのPR・説明を行った。
				市民大学への PR・説明会の 実施（市社協）	30	—	年2回	令和4年7月にふなばし市民大学校まちづく り学部ボランティア養成学科のカリキュラム において、ボランティア活動についての講義 を1回行った。 また、10月～12月までにまちづくり学部 ボランティア養成学科学生20名の地区社協で のボランティア体験実習の受け入れを実施し た。ミニデイサービス、たすけあいの会、男 性料理教室などに参加し、地区社協のボラン ティア登録に結びついた方もいた。	年1回	年2回	令和5年7月にふなばし市民大学校まちづく り学部ボランティア養成学科のカリキュラム において、ボランティア活動についての講義 を1回行った。 また、8月～10月までの期間でまちづくり 学部ボランティア養成学科学生28名の地区社 協でのボランティア体験実習の受け入れを実 施した。
				企業等への PR・説明会の 実施（市社協・ 地区社協）	31	—	3団体	市社協では、明治安田生命（船橋支社 船 橋東営業所）社員・地元タウン誌MyFunaの ライター向けに社協事業の説明会を各1回ず つ行い、また、ソフトバンク株式会社に働き かけ、地区社協でのスマホ講座開催の調整を 行った。	1団体以上	3団体	明治安田生命（船橋支社 船橋東営業所） との連携を継続し、習志野台地区社協の福祉 まつりでのブース出展などの調整を行った。 市社協として地元タウン誌MyFunaのサ ポーターに加入し、誌面やホームページバ ナー広告を活用してPRを行った。 また、ソフトバンク株式会社と調整のうえ スマホ講座を地区社協（薬円台・松が丘・豊 富）で開催した。
	安心して 暮らせる 地域づくり	包括的支援 体制の構築	○相談支援の推進	・福祉相談（地 区社協）の充実	福祉相談窓口の 周知の実施（地 区社協）	32	—	年1回以上 実施 24地区	各地区で年1回以上発行した広報紙や市社 協ホームページなどにおいて、福祉相談窓口 の周知に努めた。	年1回以上	年1回以上 実施見込 24地区

第4次地域福祉活動計画進捗状況報告シート						令和4年度（参考）			令和5年度					
基本理念	取り組むべきテーマ	重点施策	具体的な活動目標	取組目標	No.	目標	実績	振り返り	目標	達成見込	進捗状況（令和5年10月末現在）			
<p>誰もが自分らしく地域で力を安心して暮らせる社会の構築を目指して（地域づくり）</p>	<p>安心して暮らせる地域づくり</p>	<p>包括的支援体制の構築</p>	<p>・福祉相談（地区社協）の充実</p>	<p>地区社協事務局員等研修会の開催（市社協）</p>	33	—	年2回	<p>年2回実施し、2月は「地域交流の活性化と魅力発信について」（講師 株式会社myいなばし 見上氏）、3月は「就労準備支援事業と地域でのボランティア活動について」（講師 船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる 原田・大橋氏、NPO法人 猫の森 ボランティア 岩橋氏）というテーマで研修を実施し、地区社協職員としての資質向上に努めた。</p>	年2回以上	年2回	<p>令和5年10月末までに未開催だが、今年度においても2回実施する予定となっている。船橋市内で福祉サービスや就労支援等、地区社協と関係の深い活動を行っている団体にお越しいただき、それぞれの活動内容について講義・情報交換を行う（講師調整中）。研修を通して地区社協職員の知識習得・資質向上に努めたい。</p>			
			○参加支援の推進											
			<p>・就労準備支援事業（市委託事業）の推進</p>	<p>ボランティア活動受け入れ提携企業等の開拓</p>	34	—	1団体（新規）	<p>NPO法人猫の森で週1回の活動を船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる職員と連携して行っている。</p>	1団体（新規）	1団体（新規）	<p>南三咲にある増田農園に行き就労体験をさせていただいた。今後の連携については協議中。</p>			
			<p>・居住支援事業（住まいるサポート船橋）の推進</p>	<p>協力不動産店の開拓</p>	35	—	なし	<p>新規開拓は進まなかったものの、現状の協力不動産店（28社）を通じて関係不動産店に協力してもらえないかどうか働きかけを行った。</p>	1社（新規）	2社（新規）	<p>協力不動産店から紹介を頂いた1社と関係機関が相談先として利用している1社について、新規登録の打ち合わせを行っている。</p>			
				<p>物件成約数</p>	36	—	17件	<p>前半はコロナ禍により相談者の減少が見られた。また、後半について相談者は増加傾向にあったものの、成約数は少ない状態であった。個々の相談においては、複合的な課題を持つ相談が多く、様々な機関と連携を図り相談業務を進めていくことができた。</p>	30件	30件	<p>令和5年10月末現在16件となっている。また、継続中の相談においても入居につながる可能性がある。</p>			

第4次地域福祉活動計画進捗状況報告シート						令和4年度（参考）			令和5年度				
基本理念	取り組むべきテーマ	重点施策	具体的な活動目標	取組目標	No.	目標	実績	振り返り	目標	達成見込	進捗状況（令和5年10月末現在）		
誰もが自分らしく地域で力を安心して暮らせる社会の構築を目指す（地域づくり）	安心して暮らせる地域づくり	包括的支援体制の構築	○地域づくり支援の推進										
			<ul style="list-style-type: none"> 世代等を越えた交流の場の検討 	—	37	—	—	新型コロナウイルスの影響により令和3年3月31日を以ってお休み処を休止しており、福祉ビルで月1回開催している「古切手サロン」も令和4年度は中止とした。	—	—	令和5年7月に船橋国際福祉専門学校と学内の多目的スペースを活用した居場所づくりについて打ち合わせを行った。引き続き、現在休止しているお休み処に代わる世代等を越えた交流の場について検討を進めたい。 また、10月から福祉ビルでの「古切手サロン」を再開した。これまで参加いただいた方に加えて、新規参加者も数名来ており、10月は7名、11月は8名のボランティアが参加した。		
			○日常生活自立支援事業の充実と法人後見事業の検討										
			<ul style="list-style-type: none"> ふなばし高齢者等権利擁護センター「ばれっと」の充実 	出前講座の実施	38	—	年3回	地域包括支援センター、地区社協事業、市民後見人養成講座にて出前講座を行い、事業の周知と理解促進に努めた。	年2回以上	年3回	地域ケア会議推進会議、成年後見人養成講座、権利擁護サポーター養成講座にて出前講座を行い、事業の周知と理解促進に努めた。 また、新たな周知先として郵便局長会に依頼し、事業説明及びチラシを配布した。		
				広報紙による情報発信（ふなばし福祉等）	39	—	年2回	ふなばし福祉にて生活支援員募集や研修会実施報告を行い、周知に努めた。	年1回以上	年2回	ふなばし福祉にて生活支援員募集や現任生活支援員の活動紹介を行い、活動内容の周知に努めた。		
	<ul style="list-style-type: none"> 法人後見事業の検討 	—	40	—	—	他市の状況など情報収集に努めた。	—	—	船橋市権利擁護等推進協議会や中核機関等、各関係機関と相談及び検討を重ね、日常生活自立支援事業利用者のケースについて具体的な受任に向けての準備を開始した。				

第4次地域福祉活動計画進捗状況報告シート						令和4年度（参考）			令和5年度			
基本理念	取り組むべきテーマ	重点施策	具体的な活動目標	取組目標	No.	目標	実績	振り返り	目標	達成見込	進捗状況（令和5年10月末現在）	
<p>誰もが自分らしく地域で安心して暮らすための福祉のまちづくり（地域づくり）</p>	<p>顔の見える関係づくり</p>	<p>安心登録カード事業の継続・充実</p>	<p>・安心登録カード登録者に対する訪問や電話、ハガキによる見守り活動の推進</p>	<p>訪問・電話による見守り活動の実施</p>	41	—	14地区 年16,436回	<p>14地区（湊町、本町、葛飾、本中山、塚田、法典、高根台、高芝、前原、二宮・飯山満、薬円台、三田習、習志野台、三咲）で訪問または電話による見守り活動を行った。 14地区社協の実績合計は、見守り回数16,436回であり、安心登録カード登録者への見守り活動に努めた。</p>	16地区 年14,000回	15地区 年22,796回	<p>15地区（湊町、本町、葛飾、本中山、塚田、法典、高根台、高芝、前原、二宮・飯山満、薬円台、三田習、習志野台、三咲、松が丘）で、訪問または電話による見守り活動を行う見込みとなっている。 15地区社協の10月末現在の見守り回数は2,564回（上半期は回数未計上の地区あり）、3月末の見込数は22,796回であり、各地区の協力員で見守り活動をすすめている。</p>	
			<p>・安心登録カードの有効活用の検討</p>	—	43	—	—	—	<p>各地区で年2回以上の見守りハガキを送付し、24地区社協の実績合計は、送付回数49回（三咲地区は3回発送）、送付人数41,264人であり、安心登録カード登録者への見守り活動に努めた。</p>	年2回	年2回実施見込 24地区	<p>各地区で年2回、暑中・寒中の見守りハガキを送付する見込みとなっている。 安心登録カードの登録情報の変更確認のほか、往復はがきによるアンケート調査や困りごとを相談するきっかけに活用している地区がある。</p>
			<p>・安心登録カード事業の運用の適宜見直しと充実</p>	—	44	—	—	—	<p>安心登録カード登録者の異変に気付いた際の安否確認、関係者や関係機関などとの連携に努めた。 また、安否確認訓練での活用や携帯用カードの普及を進めている地区社協があった。</p>	—	—	<p>安心登録カード登録者の異変に気付いた際の安否確認、関係者や関係機関などとの連携に努めている。 また、安否確認訓練での活用や携帯用カードの普及を進めている地区社協がある。</p>
			<p>・安心登録カード事業の運用の適宜見直しと充実</p>	—	—	—	—	—	<p>安心登録カード事業運用検討会議の開催準備として、各選出区分の代表に依頼文を送付し、出席者の選定を行った。</p>	—	—	<p>安心登録カード事業運用検討会議の開催に備え、12月までに危機管理課、地域福祉課との打ち合わせを行う予定。</p>

第4次地域福祉活動計画進捗状況報告シート						令和4年度（参考）			令和5年度		
基本理念	取り組むべきテーマ	重点施策	具体的な活動目標	取組目標	No.	目標	実績	振り返り	目標	達成見込	進捗状況（令和5年10月末現在）
～誰もが自分らしく地域のかを安心して暮らす共創のまちづくり～ ～地域づくり～	支えあいの地域づくり	災害時における支援体制の構築	・災害ボランティアセンター運営の環境整備の推進	提携企業等の開拓	45	—	年1団体	株式会社KDDIと災害ボランティアセンター立ち上げ時のネットワーク環境の整備について話し合いをした。	年1団体以上	年1団体	発災時に備え、バス会社等と連携できるように調整を行った。
				訓練の実施（市社協職員のみ、関係機関との合同訓練）	46	—	年1回	令和5年2月に船橋市総合教育センターにて、ICTを活用した災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前と午後の2部制で実施した。	年1回以上	年1回	令和5年11月に災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施を予定していたが、船橋市総合教育センター入口の屋根が一部崩落したことにより、参加者の安全を確保できないことから中止とした。 年度中に、別日程での訓練実施を予定している。